

# 平成23年度（通算第12回） 長崎自然共生フォーラム通常総会開催報告

日時：平成23年6月18日（土）15：55～

場所：シュシュ：ぶどう畑のレストラン（大村市）

議長：会長 宮原和明 氏（長崎総合科学大学名誉教授）

総会は、6月18日（土）15：55から大村市弥勒寺<sup>みろくじ</sup>のシュシュ：ぶどう畑のレストランで開催された。あいにくの雨だったが、長崎・佐世保からの会員と大村駅で落ち合い、シュシュの送迎マイクロバスで途中乗車の会員と合流して幹事会を行いながら、会場に向かった（約15分）。

宮原会長あいさつ後、出席者28名（うち委任状16名）で会員の過半数を得て、恒例により会長が議長となり、議事署名人に山本さん、為永さんを指名して、議事進行した。なお、受付等に事務担当アルバイト牧 淳子氏の協力を得た。主な議事は次の通り。

## ○ 議事録

### <第1号議案> 会員状況報告について

4月1日現在、正会員46名、うち会費未納会員は8名（1年）・9名（2年）で3ヶ年待つ、との報告があった。

（了承）

### <第2号議案> 平成22年度事業報告について

総会および運営委員会・幹事会、基調講演、交流会、研究会、その他について別添、総会資料のとおり、行われとくに県費補助事業について報告があった。

（了承）

### <第3号議案> 平成22年度決算報告について

一般会計481,795円の収支内訳と財産目録128,815円、特別会計150,000円の収支決算の報告があった。

（承認）

### <第4号議案> 平成22年度監査報告について

鈴木監事から適正であった旨、報告があった。

（承認）

### <第5号議案> 平成23年度事業計画（案）について

恒例の事業を含め、総会資料のとおり、説明があった。

（承認）

＜第 6 号議案＞ 平成 23 年度予算（案）について

会員 40 名の会費収入をみこんで、208,815 円を計上、また今年度も補助事業 190,000 円の内示を受けた旨、説明があった。

（承認）

＜第 7 号議案＞ その他

別紙の人事案が提示された。なお、宮原会長から県自然環境課長の副会長就任についての経過報告があった。

（了承）

議事録署名人 山本 則仁  
為永 一夫

## 基調講演報告

続いて、特別の計らいのパン工房・集会室で、富永和博委員の講師紹介のあと、スライドを使用して山口成美氏の基調講演：自然と農、そして食育 をお願いした。

氏は、JA 営農指導員から“おおむら夢ファーム”を設立されてシュシュ・代表取締役役となられたが、以前から定年帰農・朝市・産直・地産地消・農業の6次産業化を提唱され、食農教育いわゆる食育を実践されている。食育体験により食べ物への感謝の気持ちを自然に学んで欲しいとの気持ちで仕事していると冒頭あいさつがあった。

スピーチでのポイントは、全国で農業に携っている人は260万人で、平均年齢65.8歳、自給率40%である。農業は3K事業で感動が少ないので、一次産業（農業）×二次産業（加工）×三次産業（サービス）＝六次産業化を図るべきと思う。

農業者の定期補充が出来ない現況で、百姓は百笑出来ない、いい農産物をつくれば豊作貧乏となることから、本物の観光農園となるよう年中夢休を考えた。直売サービスでは価格表をはがして生産者名は残すことができるような工夫をした（350円のイチゴパックでもお土産になる！）。愛の共同作業（植え付けから収穫まで）：レストランでのビジネス・チャンス、ここでしか出来ない工夫（披露宴・法要など）、農業が全部一式を持つ、話題性のある商品づくりはたとえば“イケメンそうめん”だ。

茶碗一杯の値段をご存知か？25～30円から発想するコンビニおにぎりの値段。プリンづくり・ウインナづくり・シュウクリームづくりなど食育は継続が必要、たとえば“1000円でレインボー7つの楽しみメニュー”や“修学旅行での体験学習”を取り込む。田舎料理教室や大村の食材を利用したバーベキューなども評判だ。おふくろの味からフクロの味（電子レンジ）への転換もしている。団塊世代への農業塾、休耕地に芋を植えて焼酎づくりも地域ブランドとして定着させ、「ファンを募る」ことも大事だ。県立大シーボルト校とのコラボもうまいき、“焼肉のタレ”は黒田五寸人參ジュースとともに新しい特産品としてネーミングを楽しくやっている。

農家民宿も代表者の感性で、地域アピールに役立っている（グリーンな岩本屋・大村のかじ屋：匠の宿・田舎の隠れ家・ぶどうクラブなど）。“トンカツで婚活”などめぐり合いほか、季節に合わせた企画たとえば“いちご摘みとイチゴ・スイーツづくり”の組み合わせなどであるが、ここで大事なことは無料にしないことだ。

最後の締めくくりの言葉は、“たった一度の人生、にこにこ笑顔で、みんな仲良く、限りなくうれし懐かし、年中夢休”だった。（近々、長崎・浜の町にサテライトを出すそうです。）

（さすが全国・地産地消コンクール最優秀賞、全国・グリーンツーリズム大賞を受けられた経営者だ、含蓄ある、すばらしい話だった。シュシュとはフランス語で“お気に入り”という意味とのこと。明るさと洒落？から発想されるアイデアなど氏の非凡さを痛く感じた。またの機会を楽しみにしています。富永さんありがとう！）